



こきぬ

つくばみらい市立小絹中学校

生徒数 236名

学級数 10学級

ラストスパート! 充実した2ヶ月に!

校長 栗原 繁則



立春も過ぎ、季節は春に向かっていますが、まだまだ寒い日が続いています。校庭に目をやると、梅の花の蕾も膨らみ始め、桜の花の蕾も少しずつ大きくなっています。寒さに負けずに、春の準備をしっかりと進めています。

さて、3年生は、私立高校の受験もほぼ終わり、公立高校の受検を控えています。一人一人のこれまでの努力の成果を発揮してほしい、そう願っています。1、2年生は、落ち着いた学校生活を送り、自分のすべきことをしっかりと進めています。

卒業、進級に向けて、この1年間の自分の取組をしっかりと振り返り、4月の自分につなげていく、そんな充実した2ヶ月になるよう生徒達を支援していきたいと思います。今後とも本校教育活動へのご協力・ご支援をお願いします。

小絹中アルバム

<p>1年生の思い出づくり ～桜公園でレクリエーション～</p>	<p>目の健康を守るために ～オンライン講演会～</p>	<p>卒業式まであと・・・ ～カウントダウンカレンダー～</p>
<p>校舎と花を組み合わせ ～お気に入りの風景～</p>	<p>オンラインで県大会に出場! ～いばらきっ子郷土検定～</p>	<p>合格を願って ～合格祈願の絵馬～</p>

ホームページから

防災について考える



「小絹中学校の防災倉庫に備蓄されているアルファ米を使った食料です！」

1月19日（水）午前9時40分過ぎ。3年2組の教室では、つくばみらい市防災課の大久保さんが、生徒に防災倉庫の備蓄品の説明をしています。大久保さんの様子は、1・3組にもZoomを使って映像が送られます。

さらに大久保さんは、災害が起きたときに、ボランティアとして活動する方法も説明してくださいました。



授業を終えた3年2組の生徒は、「災害が起きてからではなく、起きる前に防災グッズをそろえることが大切だと分かった。」

「ボランティアは何か特別な資格が必要だと思っていたが、自分にも参加できることを知り興味をもった。」

と、授業を振り返りました。

企画、運営に当たった安全主任の先生は、

「今回、つくばみらい市の防災課の方々に協力いただき、全学年の生徒に、災害ボランティアの話をしていただきました。災害時であっても、人を助ける側になることができること、その具体的な方法を知ることが今回の防災学習のねらいでした。防災倉庫の備蓄品も実際に見せていただき、生徒は、つくばみらい市の防災への体制も知ることができたと思います。」と話していました。

教室でも自宅でも同じように ～授業のオンライン配信～



「力のはたらきの授業の振り返りを入力して、送信してください。」

2月8日（火）午前9時20分。1年2組では、学習用タブレット端末を使って、理科の授業の振り返りをしていました。

この授業は、オンラインで配信され、体調不良等により自宅で療養している生徒にも授業を視聴できるようになっています。

授業を終えた理科担当の職員は、

「教室にいる生徒も自宅にいる生徒も、同じように授業が受けられるように、ミニテストも、学習用タブレット端末で行いました。」

と話していました。



日々の生徒の様子や、学校からのお知らせなどをホームページに掲載しています。右のQRコードを読み取って、スマートフォンやタブレットからご覧いただけます。

小絹中イメージキャラクター「来夢」

